

鳥羽市地域公共交通会議 会議録

会議の名称	令和6年度第1回鳥羽市地域公共交通会議定期航路幹事会
開催日時	令和6年5月29日（水）13：00～15：00
開催場所	鳥羽市役所西庁舎 4階 大会議室
議題	1. あいさつ 2. 新委員の紹介 3. 議題 【報告事項】 報告第1号 地域公共交通確保維持改善事業の二次評価の結果について 報告第2号 令和5年度鳥羽市定期航路事業の状況について 報告第3号 鳥羽市地域公共交通会議設置要綱の一部改正について 報告第4号 かもめバスのダイヤ改正について 【協議・承認事項】 議案第1号 令和5年度地域公共交通会議の事業報告及び決算について 議案第2号 令和6年度地域公共交通会議の事業計画及び予算について 議案第3号 鳥羽市地域公共交通計画の進捗評価及び実施計画の見直しについて 議案第4号 鳥羽市地域公共交通計画の一部改訂について（連動化関係） 議案第5号 生活交通確保維持改善計画の作成について 4. その他
会議資料	別添資料一式 別冊「鳥羽市地域公共交通計画（令和6年5月29日改定）（案）」
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	6人
出席委員	立花会長、中村委員、山本委員、清水委員代理 岩佐氏、木下委員、清水(晃)委員、西川委員、山本(春)委員、天野委員、小寺委員、濱田委員、高浪委員、福田委員
オブザーバー	なし
欠席委員	なし
事務局	企画財政課 斎藤、小崎、勢力 定期船課 山本、西根、斎藤
1. あいさつ ○事務局長 ・開会 ・配布資料の確認 ・出欠報告 ○会長挨拶 本日はご多忙中にもかかわらず、各自治会の皆様、また関係機関の皆様にお集りいただきまして、誠にありがとうございます。日ごろの市政運営へのご協力に深く感謝申し上げます。 市営定期航路は、離島唯一の公共交通であることから、他の交通機関とは事情が異なり、すべての離島住民の生活にダイレクトに影響を与えるものです。 今後、さらに人口減少を迎えると見込まれているからこそ、時代の変化に応じて定期航路を最適化していくことは、将来の離島地域の暮らしへの「重大な責任」であると捉えております。 燃料高騰や担い手不足など、厳しい局面を迎えておりますが、お集りの皆様で、共に、持続可能な定期航路のあり方について、ご意見をいただきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。 2. 新委員の紹介 事務局より新委員を紹介。	

3. 議題

【報告事項】

報告第1号 地域公共交通確保維持改善事業の二次評価の結果について

○事務局説明

議案書に基づき要旨を報告。

○委員の質問等

なし

報告第2号 令和5年度鳥羽市定期航路事業の状況について

○事務局説明

議案書に基づき要旨を報告。

○委員の質問等

・会長

荷物が少なくなったのは初めてか。

・事務局

お客様が少ないときの方が荷物は多かったように思う。お客様が増えてきて荷物がちょっと少なくなったような印象はあるが、これという理由は今すぐにはない。

報告第3号 鳥羽市地域公共交通会議設置要綱の一部改正について

○事務局説明

議案書を基に改正内容、施行日等を報告。

○委員の質問等

なし

報告第4号 かもめバスのダイヤ改正について

○事務局説明

議案書及び別添資料に基づき要旨と概要を説明。

○委員の質問等

・委員（町内会）

桃取からの1便で鳥羽の職場に通っている人から、新ダイヤになると桃取の1便が佐田浜についてからバスに乗るまでの時間がひっ迫しているので、マリンターミナルからの7時2分発のバスを5分発くらいに遅らせることはできないかという意見が出ている。何とか対応できないか。

・事務局

改正案を考える際に7時2分発の便について検討したが、この便の時間変更によって後の便への影響が大きいという判断になったため、今回の改正案には挙げてないような状況。検討は進めていきたいがその方の職場に行くためには2分のバスでなくても1本遅らせた7時32分発のバスもあるので、それに乗っていただいたらどうかと思う。

・委員（観光協会）

ダイヤの改正案は鉄道の時間も含めて考慮したとあるが、近鉄のダイヤは近々変わる予定はないということで大丈夫か。

・事務局

近鉄のダイヤは3月16日に変わりましたが、また改正があるかもしれない。今回は船のダイヤ改正に伴い変更点が多いが、バスのダイヤについてはいつも鉄道も考慮して調整している。

・委員（観光協会）

船のダイヤは8月1日から変わるという予定で大丈夫か。

・事務局

8月1日の予定だったが、建造の状況も含めて9月1日の予定をしている。実際いつから運用するのかというところについては、7月1日号の広報で周知させていただく。バスのダイヤ改正も9月1日で予定している。

・委員（観光協会）

市民の人が知るまで、これは箝口令ということか。

・事務局

そういうことになる。

・委員（観光協会）

事前に話し合うために、船の新ダイヤの資料があってもよかったのではないか。見比べることができないのは不便。

・委員（町内会）

バス停の場所について、港と逆の方で降車して港側で乗車するというのはいつから始まるのか。

・事務局

9月1日には出来上がるかたちにしたいと思っているがなかなか進んでいない。実際のところ議会が終わってから動くような流れになるので、できてもギリギリか少し超えてしまうかなというところ。

・会長

マリントーミナルを7時2分発のバスについてやはり2分くらい出発を遅くできないものか。

・事務局

実は、桃取より7時2分着、菅島より7時8分に着く船に乗ってきた人が1便のバスに乗れるようにという想定でマリントーミナルから8分から10分ぐらいの出発にできないかという協議はした。何とかならないか三重交通と協議をしたが、折り返し便の時間を考えると学生たちが学校に通う電車への乗り継ぎができないとなった。この1便の時間変更は他の便へ与える影響がすごく大きいと判断し、今回の改正では断念した。しかし、1分から2分の変更についてはできるかもしれないので検討したい。

○採決

原案どおり承認。

【協議・承認事項】

議案第1号 令和5年度地域公共交通会議の事業報告及び決算について

○事務局説明

議案書に基づき事業報告及び決算を説明。

○委員の質問等

なし

○採決

原案どおり承認。

議案第2号 令和6年度地域公共交通会議の事業計画及び予算について

○事務局説明

議案書に基づき事業計画及び予算を説明。決算監査結果を報告。

バス幹事会委員指摘事項による修正を説明。

○委員の質問等

・委員（町内会長）

令和5年度の決算について、旅費の支出がゼロになっているが有識者への旅費や報償費は支払われていないのか。

・事務局

この公共交通会議の旅費や報償は、別途、市公費で予算計上している。ここで計上する報償費・旅費は公共交通会議以外の会議や協議のための予算である。昨年度は、別の委託事業から旅費が出ている場合が多かった。しかし、来年度は別の委託事業が見込まれてないので、この会計で予算を確保しておくということ。

・会長

今年は新船就航とダイヤ改正という大きなトピックスがある。何らかの形で6年度の交通会議の事業計画の中に入れさせていただくことを考えている。それを前提で採決をとりたい。また詳細を入れたものを委員さんには送り差し替えをさせていただきたい。

○採決

バス幹事会での委員指摘事項を基に一部修正の上承認。

議案第 2 号 鳥羽市地域公共交通計画の進捗評価及び実施計画の見直しについて

○事務局説明

議案書に基づき評価結果及び令和 6 年度実施計画（案）を説明。

○委員の質問等

・委員（町内会）

運転に不安を感じている高齢者の方へのかもめバスの乗り方教室について、離島の人わざわざ乗り方教室のために鳥羽に行くというのでは人が集まらないと思う。年に 1 回でも良いので答志・和具・桃取の 3 町のために離島で開催してもらうことはできないのか。

・事務局

それは可能。以前も離島に出向いて開催したことがある。三重交通と協議をしているが、鳥羽に実際に来ていただいて、ハローまで行って帰ってくるという買い物ルートを実走してみることもいいかなと個人的に考えている。バスに実際に乗ることで不安を少なくしてもらうこともいいかなと思っている。離島に出向くか鳥羽で開催するかどちらになっても柔軟に対応させていただく。

・委員（観光協会）

目標 V にある「佐田浜からハロー周辺間の循環便」に関する検討について、今後どういう風になっていくのかの説明をいただきたい。

・事務局

循環便のことで昨年当初からご意見いただきながらやってきたが、なかなか新しいダイヤの検討の中でそこまで詰めきれてないのが現状。ダイヤの案は、今回説明をさせていただいた全体の課題解決型に対応したダイヤと循環便のダイヤの二通り考えてきた。しかし、ダイヤ案はできているが事業者との調整等が間に合っていない。今回のダイヤ改正については全体の課題解決型に対応したダイヤだけの提案となる。循環便のダイヤについては継続して検討を進めていく予定。

・委員（町内会）

目標 V について、「船員不足」はわかるが「担い手不足」というのは運転手のことを指すのか。

・事務局

船員と運転手の両方といえる。退職の人も増えてきてなかなか補充がされていない状態。様々な採用と雇用についてこれから庁内でも詰めていく形になるが、育成型の体制も庁内で検討をしていくことになっている。まだ全体像が見えていないので何とも言えない。

・委員（町内会）

担い手に年齢制限はあるのか。

・事務局

年齢制限というところは市役所全体の話になるが、どんな雇用の仕方があるのか考えることは必要かなと思う。

○採決

原案どおり承認。

議案第 4 号 鳥羽市地域公共交通計画の一部改訂について（連動化関係）

○事務局説明

議案書及び別添資料に基づき、改定主旨及び内容を説明。

○委員の質問等

なし

○採決

原案どおり承認。

議案第 5 号 生活交通確保維持改善計画の作成について

○事務局説明

議案書に基づき、計画内容を説明。

○委員の質問等

なし

○採決

原案どおり承認。

4. その他

○委員からの案内や意見等

・委員（観光商工課）

議案書協議承認事項の中にもあったが、離島のPR情報支援を行って新たな業者の発掘に向けてのご要望いただいたので、SNSで離島情報については連続して発信している。近鉄MaaS「ぶらりすと」について、周遊券などをプロジェクトの中で発行していただいている。連携できていることは非常に評価するところだが、ぶらりすとに関しては日本語対応のみなのでイバウンドには対応できない。近鉄にはこれから要望をし続けるが厳しそう。インバウンドはこれから多くなるので、デジタル化に関する事なども一緒にやっていかなくてはいけないと思う。意識的に進めていきたい。

バス部会についてもそうだが、分厚い資料を当日に見て有意義な議論はなかなかできない。せめて1週間前には、委員の皆さんに資料を配り目を通していただくべき。そして何かあれば事前に意見をいただき修正するところは修正するというやり方の方が有意義な議論が短時間でできるかと思う。

・委員（海事事務所）

バスから定期船、定期船からバスに乗りかえるために、バスの利用客が座席を立っているということやマリントーミナル内を利用客が走るなどのことが無いように安全面について十分注意をお願いしたい。

・委員（観光協会）

定期船に関して4点、バスに関して2点意見がある。

定期船に関して、

- ① 欠航になったときの情報が鳥羽市民以外にはわかりづらい。インターネットへの掲示だけではカバーしきれていないのではないかと思う。
- ② 新たに時刻表を作るときには空いているスペースにQRコードをつくってほしい。そのQRコードを読み取ると欠航情報などがわかるというものが良い。日本語版と英語版を作してほしい。
- ③ 周遊券について、名前からやはりお客さんが連想するものはマリントーミナルに戻ってきてもまた色々な島に行けるということ。これによりトラブルや食い違いが起こる。そのシステムをターミナルに戻ってきても4日間有効であるとか、日にちがもう少し短くても島の行き来が有効であるというものにしてほしいとは言わないが、状況を変えられないなら周遊券という名前ではなく違う名前の方がいい。
- ④ 定期船課のカウンター周辺のことについて、英語表記を増やしてほしい。余りにも英語の表記が少なすぎる。買い方もわからないし、券売機であるという表示も出ていない。こうしてほしいというイメージ図をつくってきたので参考にしてほしい。欠航になったときに、差し込み式のボードで日本語の表記はあるが英語表記は一切ない。会議と書面では外国人・インバウンドだと言っているわりには、実際には何もしていない現状とみえる。

バスに関して、

- ① かもめバスの時刻表に1日周遊券と2日周遊券の案内がどこにも書いていなので、お客さんに説明するときに困る。案内の表記スペースを作してほしい。
- ② 中之郷の待合所にある椅子をどこかのバス停に置いてもらえないか。

・事務局

欠航情報について、ホームページやとばメールについては欠航のたびに情報発信をしているが、外国語表記がしっかりされていない。ホームページの外国語表記機能を試してみてもどの程度の変更が必要なのかという確認をしてみる。時刻表に、欠航情報のQRコードを付けることは可能かと思う。これから時刻表を作るにあたり、空いているところへQRコードを作り鳥羽のホームページに繋がるようにして欠航情報が見れるようにしたい。周遊券の取り扱い方法については検討中。各場所の英語の表記について、券売機への英語表記などはシール等で対応が可能。差し込み式の欠航情報については、予算の範囲内になるが英語表記の紙を張るなどして対応を考えていく。

バスについて、確かに時刻表のところに1日周遊券などの情報が無さすぎるので考えていくべき点。

中之郷の椅子について、置ける場所が私どもの土地なら置くことが可能だと思う。待っていただいている方のことも考えてできる限りのことはしたい。地権との相談や椅子を置くことに関しての安全面、管理面の話もあるので考えていきたい。

6. 閉会